

## 学校が再開します

～心配なことがありましたら、ご連絡下さい～



5月25日に緊急事態宣言が解除され、いよいよ6月1日から学校が再開されることになりました。スムーズな再開となるよう、職員一丸となって準備を進めて参ります。

5月25日には課題の提出・受渡にお越しいただき、ありがとうございました。子供たちの元気な声を聞いているだけで、パワーをもらうことができました。校長室の前の池にいる金魚やメダカを見て、歓声をあげている光景に胸が熱くなる思いでした。

6月1日から学校が再開されるに当たって、学校でも感染防止に向けて様々な手立てを講じて参ります。保護者の皆様におかれましては、学校再開にあたって心配なことも多いと思いますが、学校でも感染予防対策を十分にとって参りますので、引き続き、今後の学校活動にご理解・ご協力をいただきますよう、よろしくお願ひします。心配なことがありましたら、担任または学校までご連絡下さい。(☎73-6880)



## 新型コロナウイルス感染症に対応した

## 教育活動の再開等に関するQ&A(シリーズ⑤)

Q：学校再開に向けて、季美の森小学校ではどのような対策を講じているのですか？

A：6月の始めは配膳の時間を短縮したり、配膳時の感染リスクを少なくするために給食の品数を通常より減らしたり、個包装の物にしたりする工夫をします。また、人との間隔がとれるように手洗い場にビニルテープを貼ったり、図書室の座席に印を付けたりします。その他、掃除や換気等、様々な点で感染予防対策を講じていきます。



手洗い場にビニルテープを貼って、間隔を開けるようにしています。



トイレにもビニルテープを貼って間隔を開けるようにしています。



図書室の椅子に使用不可の印を付けて、密を防ぐようにしています。

## 手作りマスクの刺繍に思う

街を歩く人やテレビに出演している人の中に、手作りマスクを着けている人を多く見かけるようになりました。学校だよりの臨時号でも、本校の西川教諭と小松教諭の手作りマスクを紹介しました。

最近、テレビである政治家が着けていた刺繍入りのマスクが気になりました。「何の刺繍だろう？」と不思議に思い調べてみると、アイヌに伝わる魔除けの刺繍であることがわかりました。



アイヌ刺繍



麻の葉刺繍

また、ある日の新聞で「麻の葉模様の刺繍入りマスク」という広告が目に入りました。麻の葉模様は、三角形を組み合わせた文様で魔除けの意味があるそうです。また、三角形を重ねた「鱗文（うろこもん）」は、大蛇の鱗を模した刺繍で、厄を落として更生するという意味で、同じく魔除けや生命力の強さを表すのだということもわかりました。

日本には「背守り」というおまじないも存在します。背中から悪い物が入ってこないようにと子供の着物の背中に刺繍を施すものです。刺繍の「縫い目」には、魔除けの力があるとも考えられています。

いずれも、目には見えない禍から身を守りたい、大切な人を守りたいと願う気持ちから生まれたようです。最近「アマビエ」という疫病に関する予言をする日本古来の妖怪も話題になっています。アマビエビスケットなる物も登場しているとか・・・。



妖怪アマビエ

6月から学校が再開します。目に見えないウイルスと戦うのは難しいですが、「正しく恐がる」という基本姿勢のもと、熱中症対策とともに、感染予防対策をしっかり講じて安全な学校運営に心掛けて参ります。

## 第1回学校評議員会議を開催

～どこへ行くのかより、誰と何をしたのが大事～



学校再開にあたり、5月27日（水）に学校評議員会議を開催しました。評議員の皆様とPTA会長、副会長に、今後の学校生活や学校行事についてご意見をいただきました。

話し合いの中で、学校で新型コロナウイルスに関わるいじめが絶対に起きないように子供たちの心のケアをすることや、自助・共助の精神を育ててほしいこと等のご助言をいただきました。また、2学期以降に予定されている修学旅行等の体験学習については、状況を見て子供たちに是非楽しい思い出をつくらせてほしいこと等の要望もいただきました。特に、修学旅行については「どこへ行くのかより、誰と何をするのが大事。友達と協力する楽しさを体験させてほしい。」というお言葉をいただきました。

学校では、6月1日からの第1週目を「教育相談週間」とし、子供たちにアンケート調査をしたり、担任と面談を行ったりします。また、学校生活の中で、子供たちの行動や様子にいつも以上に目を配り、ケアをしていきます。ご家庭でも、しばらくはお子さんの様子を注意して見ていただくと助かります。